

# 美術部が TASC ぎふとコラボし、

# 絵本を通して障がいのある方と

# 人と社会をつなぐ企画に挑戦

R06.07.16



消防クリエイターの伊藤健一さんは、幼い頃から消防士になることが夢、甲斐郡火管署長の資格を取り、警備府会館館長と上野高等学校の校長も受けた。数年前には、佐野の「消防市消防本部」を立ち上げ、消防員を務めている。今年に消防を題材にした絵本の原稿を3本執筆し、コンクールに応募した。大垣東高校美術部は、絵本も作った経験がある。その経験を活かして、伊藤さんの「消防士」を、絵本として形にすることに挑戦。誰の自らの声も伝わる絵本にするのが、伊藤さんを交えて意見交換をした。

【掲載】令和6年7月16日版 「まじわる新聞」(岐阜県新聞協会発行)  
 【掲載】令和6年7月16日版 「まじわる新聞」(岐阜県新聞協会発行)

**伊藤健一さん**  
 消防士になるのが夢で、甲斐郡火管署長の資格を取り、警備府会館館長と上野高等学校の校長も受けた。数年前には、佐野の「消防市消防本部」を立ち上げ、消防員を務めている。今年に消防を題材にした絵本の原稿を3本執筆し、コンクールに応募した。大垣東高校美術部は、絵本も作った経験がある。その経験を活かして、伊藤さんの「消防士」を、絵本として形にすることに挑戦。誰の自らの声も伝わる絵本にするのが、伊藤さんを交えて意見交換をした。

**伊藤健一さん**  
 消防士になるのが夢で、甲斐郡火管署長の資格を取り、警備府会館館長と上野高等学校の校長も受けた。数年前には、佐野の「消防市消防本部」を立ち上げ、消防員を務めている。今年に消防を題材にした絵本の原稿を3本執筆し、コンクールに応募した。大垣東高校美術部は、絵本も作った経験がある。その経験を活かして、伊藤さんの「消防士」を、絵本として形にすることに挑戦。誰の自らの声も伝わる絵本にするのが、伊藤さんを交えて意見交換をした。

**伊藤健一さん**  
 消防士になるのが夢で、甲斐郡火管署長の資格を取り、警備府会館館長と上野高等学校の校長も受けた。数年前には、佐野の「消防市消防本部」を立ち上げ、消防員を務めている。今年に消防を題材にした絵本の原稿を3本執筆し、コンクールに応募した。大垣東高校美術部は、絵本も作った経験がある。その経験を活かして、伊藤さんの「消防士」を、絵本として形にすることに挑戦。誰の自らの声も伝わる絵本にするのが、伊藤さんを交えて意見交換をした。

**伊藤健一さん**  
 消防士になるのが夢で、甲斐郡火管署長の資格を取り、警備府会館館長と上野高等学校の校長も受けた。数年前には、佐野の「消防市消防本部」を立ち上げ、消防員を務めている。今年に消防を題材にした絵本の原稿を3本執筆し、コンクールに応募した。大垣東高校美術部は、絵本も作った経験がある。その経験を活かして、伊藤さんの「消防士」を、絵本として形にすることに挑戦。誰の自らの声も伝わる絵本にするのが、伊藤さんを交えて意見交換をした。

**伊藤健一さん**  
 消防士になるのが夢で、甲斐郡火管署長の資格を取り、警備府会館館長と上野高等学校の校長も受けた。数年前には、佐野の「消防市消防本部」を立ち上げ、消防員を務めている。今年に消防を題材にした絵本の原稿を3本執筆し、コンクールに応募した。大垣東高校美術部は、絵本も作った経験がある。その経験を活かして、伊藤さんの「消防士」を、絵本として形にすることに挑戦。誰の自らの声も伝わる絵本にするのが、伊藤さんを交えて意見交換をした。

消防クリエイター 伊藤健一さん  
 YouTubeチャンネル(加入は無料)

R6.6.27「まじわる新聞」より  
 県障がい者芸術文化支援センター発行